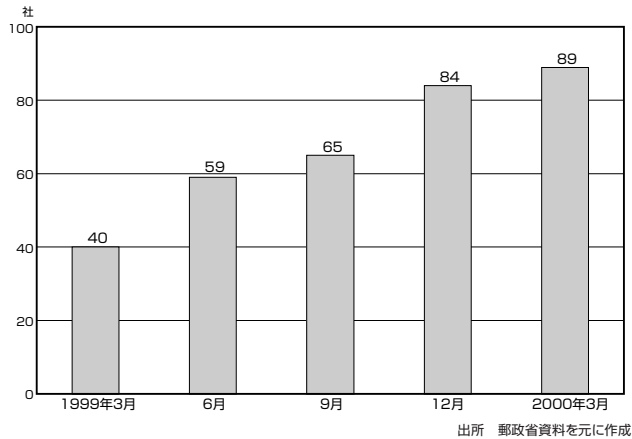


第1章 通信ネットワーク

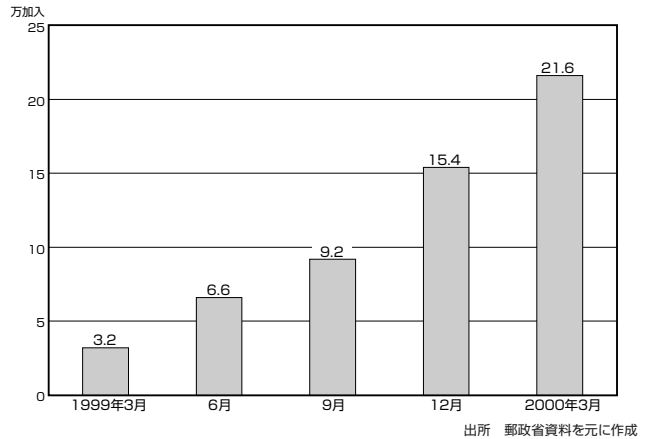
CATV①

利用者が21万6000人に

資料4-1-11 CATVインターネット接続サービス事業者数の推移



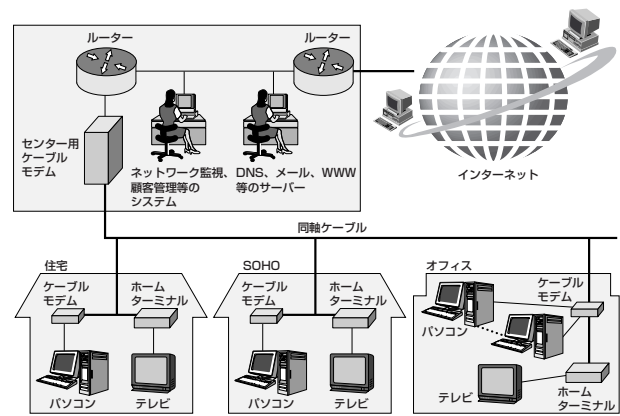
資料4-1-12 CATVインターネット接続サービス利用者数の推移



資料4-1-13 CATVインターネットの利用状況

	CATVで接続		
	1999年	2000年	今後CATVで接続
個人	0.3%	3.2%	8.9%
企業	0.0%	0.8%	1.9%

インターネット白書2000 ©インプレス、Access Media International&IAJ, 2000



解説

「高速・常時接続・利用料定額・複数パソコン同時利用可能・電話代不要」などさまざまな特徴を備えたCATVインターネットは、わが国では1996年10月から始まり、2000年3月には全国89社のCATV事業者で提供されている（資料4-1-11）。1998年11月に約2.1万人だったCATVインターネットの利用者数も、2000年3月末には21.6万加入に増え、事業者数の伸びに対して、利用者数が圧倒的に高い伸び率を示している（資料4-1-12）。サービスを提供しているCATV事業者を地域的にみると、上位は東京都（16社）、大阪府（12社）、愛知県（6社）、三重県（6社）、神奈川県（6社）、兵庫県（6社）となり、関東、関西、東海圏でのサービスの伸びが著しい。CATVが家庭向けの放送サービスであるため、家庭でのCATV利用率に比べると企業のCATV利用率は低い、インターネット利用者全体に対するCATVの割合は

着実に増加している（資料4-1-13）。

CATVインターネットの一般的なシステム構成は、通常のプロバイダーと同様、上位プロバイダーへ専用線で接続し、DNSやメール、WWWなどの各種サーバーおよびネットワーク監視や顧客管理などの機器がセンターに配置される（図1）。CATV網を介してセンターと加入者を接続するために必要となるものがケーブルモデムで、センターと加入者宅内に設置され、ネットワーク全体を広域LANとして通信制御する。そのため、各ユーザーが享受できる通信速度は、接続している宅内モデム数や利用しているパソコンの数に応じて刻々と変化することになるが、一般的にオフィスのLAN環境と同じ使い勝手のサービスが家庭でも受けられる。

（山添亮介 KDD株式会社マルチメディアビジネス推進部）



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp